

## 「北九州響灘洋上ウインドファーム」 港湾改正後、日本初となる大規模洋上風力発電プロジェクト

現在、電源開発(株)、北拓(株)、西部ガス(株)、(株)九電工とコンソーシアムを組み、北九州市若松区沖の響灘において、南北1~10km、東西11kmの海域に設備容量9,600kWの大型風車を25基設置する最大出力22万kWの洋上風力発電プロジェクトを進めています。

2016年、港湾法改正後の第一号案件となる北九州市の公募で、2017年2月に占用予定者として選定され、2017年4月に事業主体となる特別目的会社「ひびきウインドエナジー(株)」を設立。2017年度より風況観測や海域調査、環境影響評価等を実施し、その結果を基に詳細設計や工事の実施方法など、事業計画の具体化を進め、ウインドファーム認証をはじめとする各種審査・申請手続きを行い、2023年3月に建設工事を開始しました。

2025年度に順次運転を開始する予定で、完成時点では国内最大の洋上風力発電所となります。



写真提供：ひびきウインドエナジー(株)/北九州市

- 【設備容量】 220,000kW
- 【所在地】 福岡県北九州市
- 【運転開始】 2025年度(予定)
- 【事業会社】 ひびきウインドエナジー(株)  
 [九電みらいエナジー(株) 30%出資]
- 【事業パートナー】 電源開発(株)、北拓(株)、西部ガス(株)、(株)九電工

### 風車のイメージ

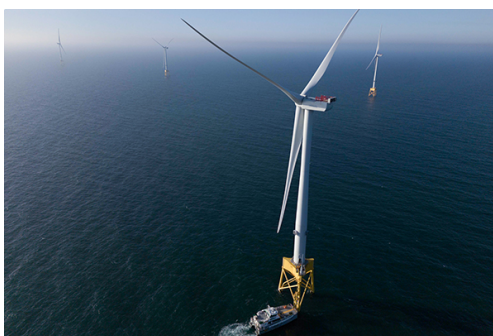


Photo courtesy of Vestas Wind Systems A/S

